

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したグローバルデータベースの作成
当院の研究責任者	竹下 博志
他の研究機関および各施設の 研究責任者	特定非営利活動法人日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-J) 理事長 澤口 毅 他 全国 300 病院以上 (2022 年 9 月時点)
本研究の目的	この研究の目的は、大腿骨近位部骨折に関する大規模データベースを作り上げることです。大腿骨近位部骨折は、高齢化の進行する日本だけでなく、世界規模での対策が求められています。国際的な組織である Fragility fracture network (FFN) では共通患者データベースを作製し、大腿骨近位部骨折の治療の改善、進歩への改革を実施しています。 今回、特定非営利活動法人日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-Japan) では国際比較を念頭に置いて、日本の大腿骨近位部骨折データベースを作製して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討するプロジェクトを実施することになりました。国際的なフォーマット (和訳) で患者情報を登録し、1 年間の追跡を行います。
調査データ該当期間	2022 年 12 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 大腿骨近位部骨折で入院された 50 歳以上の方 ●利用する情報 ①患者情報 (年齢、性別、住居種別、受傷前の活動性、術前全身状態、認知テスト、骨折の状態、骨粗鬆症に対する薬物療法) ②急性期情報 (受傷日時、来院日時、手術に関する情報、入院中の状態) ③退院情報 (退院寄、退院日時、入院期間、骨粗鬆症に対する薬物療法) ④入院後情報 (入院から 30 日目、120 日目、365 日目の情報)
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	日本脆弱性骨折ネットワークが作成したデータベース上に情報を入力いたします。
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は利用いたしません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221（病院代表） 所属・職名：整形外科・診療部長 担当者氏名：竹下 博志
備考	